

令和元年秋期 金沢地区推進連絡会 議事録

令和元年 11 月 23 日（土・祝）

17：00～18：00

於：金沢地区連合町内会館

防災について

- ・要援護者用トイレが欲しい。または、要援護者のための避難所があるなら教えて欲しい。
- ・避難所である体育館のプライバシー確保について、段ボールなり衝立なり、必要な物品が欲しい。
- ・毎年同じメニューの繰り返しで、リアリティがない。決まったことを淡々とこなすだけ、といった印象。他都市視察の状況報告など、避難所運営の実際の状況を見てみたい。
- ・今回の台風 15 号・19 号では早期避難を呼びかけ効果はあった。しかし、洲崎東部など平地では恐怖は感じなかった。1 人暮らしの女性などから「どこに避難すればいいのか？」と聞かれて困った。我々の周囲には避難所はない。「関東学院に行こうか？」と言う人もいた。開設する避難所を周知する際は、「ここは崖地からの避難」のために開設することも併せて周知した方がよい。
- ・野島では、心配する人のために町内会館を開けた。1 人だけ避難してきた。消防団は遅くまで待機してくれた。町内会は役員 7 人で 19 時半(高潮の時間)まで対応。高潮は道路までかぶった。
- ・海の公園地区はほとんど関東学院へ避難した。平潟地区だけ特別に連絡体制が作れないだろうか。金沢小学校を開けると行って行った人もいた。
- ・台風の時は関東学院、という周知がなかなか分かりづらい。一時(いつとき)避難所は公園になっている。
- ・一時(いつとき)避難所は津波対策、見直しが必要。
- ・乙舩はどこが対策をとるか決まっていない。市有地で少々の崖崩れがあったが、その後どういう対策を取ったか何の連絡もない。
- ・地震の時には拠点には市職員は発災から 3 日経たないと来られない。無線設備の整備など、自治会町内会でできる範囲で対策を考えないといけない。

人材確保について

- ・今年から単位町内会の婦人部がなくなった。婦人部の維持の仕方を知りたい。構成員の高齢化が原因かもしれないが。

- ・地区社会福祉協議会と自治会町内会との関係はどうあるべきか。
- ・金沢小学校防災訓練の役員は、比較的若手主体、各班に各町内から7～8人ずつ割当て、委員長がいなくても各班が機能するようにエキスパートを養成するようにしている。
- ・役員が1人辞めると他の人も皆辞めていく。後任を養成するのに10年かかる。